

アッシュモア新興国 短期社債ファンド 毎月分配型(為替ヘッジなし) 【運用報告書(全体版)】

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2014年7月31日から2024年7月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国短期社債等に投資することにより、相対的に高い利回りの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド (アンヘッジド・マンスリー・ディストリビューション・クラス) 新興国の社債 マネープール・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、米ドル建ての新興国短期社債等に投資することにより、相対的に高い利回りの確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドが行います。 ■原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

第11作成期(2019年7月27日から2020年1月27日まで)

第 61 期 / 第 62 期 / 第 63 期
決算日 2019年8月26日 決算日 2019年9月26日 決算日 2019年10月28日

第 64 期 / 第 65 期 / 第 66 期
決算日 2019年11月26日 決算日 2019年12月26日 決算日 2020年1月27日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。
当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国短期社債等に投資することにより、相対的に高い利回りの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間:午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジなし）

■ 最近 5 作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入率	投資信託比率	純資産額
		(分配)	税配	騰落率			
		円	円	%	%	%	百万円
第7作成期	37期(2017年8月28日)	10,495	35	△1.2	0.0	98.7	157
	38期(2017年9月26日)	10,788	35	3.1	0.0	98.7	161
	39期(2017年10月26日)	10,960	35	1.9	0.0	98.7	164
	40期(2017年11月27日)	10,668	35	△2.3	0.0	98.7	159
	41期(2017年12月26日)	10,847	35	2.0	0.0	96.5	155
	42期(2018年1月26日)	10,447	35	△3.4	0.0	98.5	145
第8作成期	43期(2018年2月26日)	10,203	35	△2.0	0.0	98.7	141
	44期(2018年3月26日)	9,966	35	△2.0	0.0	98.6	138
	45期(2018年4月26日)	10,226	35	3.0	0.0	98.7	141
	46期(2018年5月28日)	10,213	35	0.2	0.0	98.7	141
	47期(2018年6月26日)	10,213	35	0.3	0.0	98.7	141
	48期(2018年7月26日)	10,409	35	2.3	0.0	82.3	45
第9作成期	49期(2018年8月27日)	10,439	35	0.6	0.0	98.9	45
	50期(2018年9月26日)	10,597	35	1.8	0.1	98.9	46
	51期(2018年10月26日)	10,559	35	△0.0	0.0	98.8	44
	52期(2018年11月26日)	10,470	35	△0.5	0.0	98.8	43
	53期(2018年12月26日)	10,423	35	△0.1	0.0	98.7	40
	54期(2019年1月28日)	10,405	35	0.2	0.0	98.6	40
第10作成期	55期(2019年2月26日)	10,540	35	1.6	0.1	98.6	41
	56期(2019年3月26日)	10,406	35	△0.9	0.0	98.9	34
	57期(2019年4月26日)	10,513	35	1.4	0.1	98.8	46
	58期(2019年5月27日)	10,336	35	△1.4	0.1	98.7	45
	59期(2019年6月26日)	10,126	35	△1.7	0.1	98.5	43
	60期(2019年7月26日)	10,227	35	1.3	0.1	98.4	44
第11作成期	61期(2019年8月26日)	9,734	35	△4.5	0.1	98.8	49
	62期(2019年9月26日)	9,757	35	0.6	0.1	98.7	49
	63期(2019年10月28日)	9,996	35	2.8	0.0	98.8	74
	64期(2019年11月26日)	9,781	35	△1.8	0.0	98.8	73
	65期(2019年12月26日)	10,180	35	4.4	0.0	98.6	128
	66期(2020年1月27日)	10,276	35	1.3	0.0	98.6	129

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		債 券 組 入 率 比	投 資 信 託 証 券 組 入 率 比
		騰 落 率	率		
第61期	(期 首) 2019年 7月26日	円	%	%	%
	7月末	10,227	—	0.1	98.4
	(期 末) 2019年 8月26日	10,218	△0.1	0.1	83.8
第62期	(期 首) 2019年 8月26日	9,769	△4.5	0.1	98.8
	(期 首) 2019年 8月26日	9,734	—	0.1	98.8
	8月末	9,589	△1.5	0.1	98.7
第63期	(期 末) 2019年 9月26日	9,792	0.6	0.1	98.7
	(期 首) 2019年 9月26日	9,757	—	0.1	98.7
	9月末	9,825	0.7	0.0	98.7
第64期	(期 末) 2019年10月28日	10,031	2.8	0.0	98.8
	(期 首) 2019年10月28日	9,996	—	0.0	98.8
	10月末	9,942	△0.5	0.0	98.8
第65期	(期 末) 2019年11月26日	9,816	△1.8	0.0	98.8
	(期 首) 2019年11月26日	9,781	—	0.0	98.8
	11月末	9,836	0.6	0.0	83.5
第66期	(期 末) 2019年12月26日	10,215	4.4	0.0	98.6
	(期 首) 2019年12月26日	10,180	—	0.0	98.6
	12月末	10,224	0.4	0.0	98.6
	(期 末) 2020年 1月27日	10,311	1.3	0.0	98.6

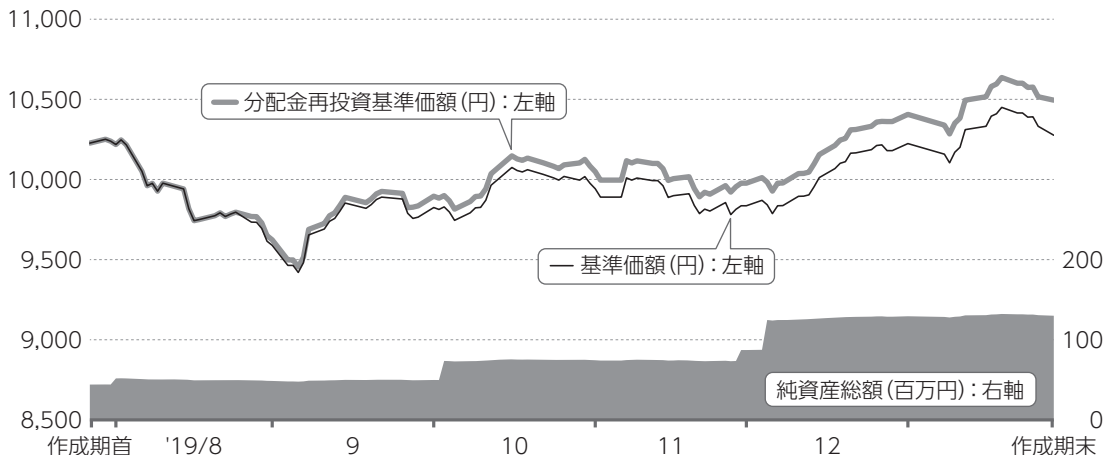
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2019年7月27日から2020年1月27日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	10,227円
作成期末	10,486円 (当作成期分配金210円(税引前)込み)
騰落率	+2.6% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因（2019年7月27日から2020年1月27日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国短期社債等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 作成期を通してみると、米回国債利回りが低下（価格は上昇）したこと
- 作成期を通してみると、新興国債券のスプレッド（米回国債に対する上乗せ金利）が縮小したこと
- 作成期を通してみると、米ドル高・円安が進行したこと

下落要因

- 大統領の交代によって債務の返済に対して懐疑的な見方が広がったアルゼンチンの国債、社債の価格が下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	作成期末組入比率
アッシュモア・エマーGING・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド (アンヘッジド・マンスリー・ディストリビューション・クラス)	外国債券	98.6%
マネープール・マザーファンド	短期金融資産	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2019年7月27日から2020年1月27日まで）

新興国債券市場は上昇しました。また、為替市場は米ドル高・円安となりました。

新興国債券市場

米国国債利回りは、作成期を通してみれば低下しました。

米国の金融政策が引き続きハト派（景気を重視する立場）的だったことや8月にトランプ大統領が中国に対する新たな関税の導入を提示したことにより、世界景気の減速見通しが強まったことなどが、利回り低下要因となりました。

10月以降は、米中貿易協議の進展期待などを背景に、利回りは上昇基調で推移しました。12月には、米中貿易協議における第一段階の合意が発表されました。

新興国債券市場は、米中貿易交渉に関するニュースなどに投資家心理が振られる展開となりました。ただし、グローバルに金利が低下している中、相対的に高い利回りを求める投資家からの資金流入が続き、作成期を通じて、概ね堅調に推移しました。

米国3年国債利回りは作成期首1.83%から作成期末には1.48%に低下しました。

J P モルガン C E M B I B D 1 - 3 年指数は、3.1%上昇しました。格付け別では投資適格が2.3%上昇、また投資非適格は3.8%の上昇となりました（リターンはいずれも米

ドルベース）。

米国金利の低下に加えスプレッドが縮小したことから、トータルリターンは上昇しました。

為替市場

米ドルは、作成期初から9月上旬にかけて対円で下落しました。中国に追加関税をかけるとのトランプ大統領の発言などが嫌気されるとの投資家のリスク回避姿勢が強まりました。9月中旬以降は、概ね良好な主要国の経済指標や米中通商協議が進展するとの期待から、米ドルは対円で上昇しました。

当作成期の米ドル・円は作成期首108円74銭から作成期末109円06銭と0円32銭の米ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2019年7月27日から2020年1月27日まで）

当ファンド

「アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド（アンヘッジド・マンスリー・ディストリビューション・クラス）」を高位に組み入れました。

アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド（アンヘッジド・マンスリー・ディストリビューション・クラス）

●平均残存期間

ポートフォリオの平均残存期間は1.5年程度とし前作成期と同程度としました。

●国別配分

中国の不動産銘柄、アルゼンチンのエネルギー会社、エクアドルの国債などを中心に投資を行いました。

●格付け別配分

クレジットリスクと比較してスプレッド水準が高く割安感のある投資非適格債券を中心に、ポートフォリオを運営しました。

マネープール・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2019年7月27日から2020年1月27日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2019年7月27日から2020年1月27日まで）

当作成期の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ35円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
当期分配金 (対基準価額比率)	35 (0.358%)	35 (0.357%)	35 (0.349%)	35 (0.357%)	35 (0.343%)	35 (0.339%)
当期の収益	35	35	35	35	35	35
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	1,739	1,743	1,751	1,752	1,760	1,767

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド(アンヘッジド・マンスリー・ディストリビューション・クラス)」を高位に組み入れて運用を行います。

アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド (アンヘッジド・マンスリー・ディストリビューション・クラス)

米国をはじめとしたグローバル経済は、金融緩和や財政出動なくしては現状の景況感を維持することが難しくなっている中で、今後は先進国の経済成長率や米国を中心に徐々に悪化の兆しがみられるクレジットリスクの動向が注目されると考えます。米国では大統領選挙を控えて、米国国債の利回りは低位で推移するとみられ、投資家による高金

利債券への資金シフトは継続すると思われる。一方で、クレジット市場の一部ではクレジットリスク以上にスプレッドが縮小しているケースも散見され、これまで以上にクレジットリスクに対して注意が必要となっています。

上記の環境の下、今後は投資家のクレジット市場選別の動きはより強まると考えられますが、先進国と比べて新興国では政府や企業の債務水準が低く、中央銀行の金融緩和余地も大きいことから、新興国のファンダメンタルズ(基礎的条件)の相対的な優位性が示

されると予想され、新興国債券市場への資金流入の好材料になると考えています。

今後も、クレジットリスクと比較して割安な銘柄を中心にバイアンドホールド戦略(償還まで保有する戦略)を行い、トータルリターンの最大化を目指します。

マネープール・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジなし）

■ 1万口当たりの費用明細（2019年7月27日から2020年1月27日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 会 社 ）	55円 (14) (39) (2)	0.550% (0.145) (0.389) (0.017)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （ 監 査 費 用 ） （ そ の 他 ）	0 (0) (0)	0.004 (0.004) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	55	0.554	

期中の平均基準価額は9,939円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

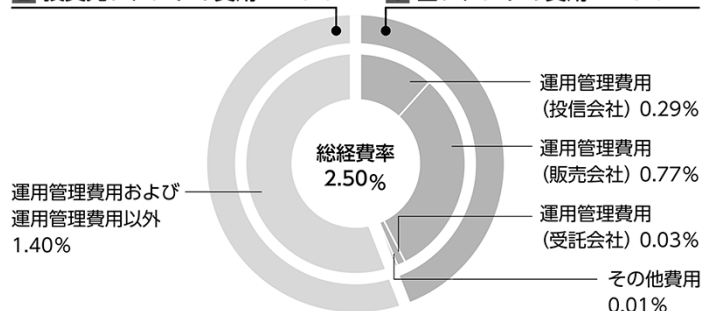
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「損益計算書」をご覧ください。

参考情報 総経費率（年率換算）

② 投資先ファンドの費用 1.40% ① 当ファンドの費用 1.10%



総経費率（①+②）	2.50%
① 当ファンドの費用の比率	1.10%
② 投資先ファンドの費用の比率	1.40%

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジなし）

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は2.50%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2019年7月27日から2020年1月27日まで）

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国 内	アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド（7ヘッジド・マンスリー・ディストリビューション・クラス）	8,333	千円 81,800	49	千円 500
合 計		8,333	81,800	49	500

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等（2019年7月27日から2020年1月27日まで）

利害関係人との取引状況

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジなし）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

マネープール・マザーファンド

区 分	当 作 成 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公社債	百万円 137,867	百万円 35,836	% 26.0	百万円 -	百万円 -	% -
現先取引(公社債)	34,105,966	961,267	2.8	34,205,845	961,265	2.8

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジなし）

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年7月27日から2020年1月27日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2020年1月27日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首		作成期末		組入比率
	口数	口数	口数	評価額	
アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド（アンヘッジド・マンスリー・ディストリビューション・クラス）	4,247		12,531	128,202	98.6
合計	4,247		12,531	128,202	98.6

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。
※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種類	作成期首		作成期末	
	口数	口数	口数	評価額
マネーパール・マザーファンド	39		39	39

※マネーパール・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は402,243,159口です。
※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成（2020年1月27日現在）

項目	作成期末	
	評価額	比率
投資証券	128,202	98.2
マネーパール・マザーファンド	39	0.0
コール・ローン等、その他	2,305	1.8
投資信託財産総額	130,546	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジなし）

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2019年8月26日)	(2019年9月26日)	(2019年10月28日)	(2019年11月26日)	(2019年12月26日)	(2020年1月27日)
項 目	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末
(A) 資 産	49,528,380円	49,668,055円	75,146,925円	73,560,096円	129,302,795円	130,546,505円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	798,431	821,117	1,155,735	1,179,448	2,271,287	2,303,622
投 資 証 券 (評 価 額)	48,689,997	48,806,990	73,951,246	72,340,704	126,991,568	128,202,947
マネーブル・マザーファンド(評価額)	39,952	39,948	39,944	39,944	39,940	39,936
(B) 負 債	222,231	222,252	328,687	326,492	547,350	567,422
未 払 収 益 分 配 金	177,294	177,364	261,979	262,045	442,664	442,719
未 払 信 託 報 酬	44,645	44,624	66,311	64,048	104,060	123,913
未 払 利 息	2	2	2	3	5	5
そ の 他 未 払 費 用	290	262	395	396	621	785
(C) 純資産総額 (A - B)	49,306,149	49,445,803	74,818,238	73,233,604	128,755,445	129,979,083
元 本	50,655,558	50,675,604	74,851,376	74,870,227	126,475,668	126,491,232
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,349,409	△ 1,229,801	△ 33,138	△ 1,636,623	2,279,777	3,487,851
(D) 受 益 権 総 口 数	50,655,558口	50,675,604口	74,851,376口	74,870,227口	126,475,668口	126,491,232口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,734円	9,757円	9,996円	9,781円	10,180円	10,276円

※当作成期における作成期首元本額43,108,647円、作成期中追加設定元本額83,582,585円、作成期中一部解約元本額200,000円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジなし）

■ 損益の状況

項 目	自2019年7月27日 至2019年8月26日	自2019年8月27日 至2019年9月26日	自2019年9月27日 至2019年10月28日	自2019年10月29日 至2019年11月26日	自2019年11月27日 至2019年12月26日	自2019年12月27日 至2020年1月27日
	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
(A) 配 当 等 収 益	225,345円	225,404円	333,296円	333,554円	564,902円	563,836円
受 取 配 当 金	225,435	225,435	333,597	333,597	565,393	563,929
支 払 利 息	△ 90	△ 31	△ 301	△ 43	△ 491	△ 93
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△2,510,481	116,989	1,644,252	△1,610,542	4,645,650	1,211,375
売 買 損 益	—	116,993	1,644,256	—	4,650,836	1,211,379
売 買 損 益	△2,510,481	△ 4	△ 4	△1,610,542	△ 5,186	△ 4
(C) 信 託 報 酬 等	△ 44,938	△ 44,887	△ 66,706	△ 64,444	△ 104,681	△ 124,698
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A + B + C)	△2,330,074	297,506	1,910,842	△1,341,432	5,105,871	1,650,513
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 465,117	△2,972,485	△2,852,343	△1,203,480	△ 2,802,525	1,860,682
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,623,076	1,622,542	1,170,342	1,170,334	419,095	419,375
(配 当 等 相 当 額)	(4,283,766)	(4,287,253)	(8,501,275)	(8,504,576)	(17,553,436)	(17,556,177)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,660,690)	(△2,664,711)	(△7,330,933)	(△7,334,242)	(△17,134,341)	(△17,136,802)
(G) 計 (D + E + F)	△1,172,115	△1,052,437	228,841	△1,374,578	2,722,441	3,930,570
(H) 収 益 分 配 金	△177,294	△177,364	△ 261,979	△ 262,045	△ 442,664	△ 442,719
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△1,349,409	△1,229,801	△ 33,138	△1,636,623	2,279,777	3,487,851
追 加 信 託 差 損 益 金	1,623,076	1,622,542	1,170,342	1,170,334	419,095	419,375
(配 当 等 相 当 額)	(4,283,766)	(4,287,253)	(8,501,275)	(8,504,576)	(17,553,436)	(17,556,177)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,660,690)	(△2,664,711)	(△7,330,933)	(△7,334,242)	(△17,134,341)	(△17,136,802)
分 配 準 備 積 立 金	4,527,217	4,545,709	4,605,787	4,612,853	4,716,461	4,797,975
繰 越 損 益 金	△7,499,702	△7,398,052	△5,809,267	△7,419,810	△ 2,855,779	△ 1,729,499

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
(a) 費用控除後の配当等収益	180,408円	195,856円	322,057円	269,111円	553,555円	524,233円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	4,283,766	4,287,253	8,501,275	8,504,576	17,553,436	17,556,177
(d) 分配準備積立金	4,524,103	4,527,217	4,545,709	4,605,787	4,605,570	4,716,461
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	8,988,277	9,010,326	13,369,041	13,379,474	22,712,561	22,796,871
1万口当たり分配可能額	1,774	1,778	1,786	1,787	1,795	1,802
(f) 分配金額	177,294	177,364	261,979	262,045	442,664	442,719
1万口当たり分配金額(税引前)	35	35	35	35	35	35

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
		35円	35円	35円	35円	35円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジなし）

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド（アンヘッジド・マンスリー・ディストリビューション・クラス）
形態	ガーンジー籍外国投資法人（円建て）
主要投資	新興国の社債
運用の基本方針	主として、新興国の社債に投資を行い、償還年限の短い債券に投資することによって価格変動リスクを抑制しながら、相対的に高いインカム収入を享受することを目標とします。 原則として対円での為替ヘッジを行いません。
ベンチマーク	J Pモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・ブロード・ディバースファイド（1-3年）
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ・有価証券の空売りは、純資産総額の範囲内とします。
決算日	原則として7月31日
分配方針	毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用報酬	純資産総額に対して年0.72%
管理およびその他の費用	<p>ファンドの管理、保管、設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッド
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下は、「アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド（アンヘッジド・マンスリー・ディストリビューション・クラス）」をシェアクラスとして含む「アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジなし）

■ 損益計算書(2019年7月31日終了年)

	(単位：日本円)	(単位：日本円)
収入		
純キャピタル・ロス		(33, 189, 123)
収益	65, 091, 733	
費用	(13, 977, 834)	
税引前及び税引後純収益	51, 113, 899	
分配前トータル・リターン		17, 924, 776
分配		(26, 623, 950)
参加投資主に帰属する純資産の投資活動による変動		(8, 699, 174)

上記の結果は会社の継続する営業に関連するものである。参加投資主に帰属する純資産の投資活動による変動に含まれていない収入または費用はない。

■ 投資明細表(2019年7月31日現在)

投資銘柄	満期日	通貨	名目元本	時価 日本円	純資産 比率 (%)
公認の証券取引所に上場されている証券					
債券					
アンゴラ					
Republic of Angola via Northern Lights III BV 7%	2019年8月17日	米ドル	110, 625	11, 989, 250	1.28
				11, 989, 250	1.28
アルゼンチン					
Argentine Republic Government International Bond 6.875%	2021年4月22日	米ドル	200, 000	19, 432, 240	2.07
Cablevision SA 6.5%	2021年6月15日	米ドル	420, 000	45, 481, 212	4.85
Pan American Energy LLC 7.875%	2021年5月7日	米ドル	216, 667	24, 315, 178	2.60
YPF SA 8.5%	2021年3月23日	米ドル	600, 000	66, 682, 980	7.11
				155, 911, 610	16.63
バーレーン					
Batelco International Finance No1 Ltd 4.25%	2020年5月1日	米ドル	200, 000	21, 674, 004	2.31
				21, 674, 004	2.31
ブラジル					
CSN Resources SA 6.5%	2020年7月21日	米ドル	280, 000	31, 141, 826	3.32
				31, 141, 826	3.32

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジなし）

投資銘柄	満期日	通貨	名目元本	時価 日本円	純資産 比率 (%)
中国					
Central China Real Estate Ltd 6.5%	2021年3月5日	米ドル	200,000	21,844,356	2.33
Central China Real Estate Ltd 8.75%	2021年1月23日	米ドル	200,000	22,515,018	2.40
China Evergrande Group 8.25%	2022年3月23日	米ドル	660,000	69,329,801	7.39
China SCE Group Holdings Ltd 7.45%	2021年4月17日	米ドル	200,000	22,148,759	2.36
Kaisa Group Holdings Ltd 7.25%	2020年6月30日	米ドル	224,000	24,335,313	2.60
Scenery Journey Ltd 11%	2020年11月6日	米ドル	200,000	22,472,636	2.40
Sunac China Holdings Ltd 7.35%	2021年7月19日	米ドル	200,000	22,122,965	2.36
Tungshu Venus Holdings Ltd 7%	2020年6月12日	米ドル	200,000	14,112,800	1.50
				218,881,648	23.34
エクアドル					
Ecuador Government International Bond 10.5%	2020年3月24日	米ドル	200,000	22,444,997	2.40
Ecuador Government International Bond 10.75%	2022年3月28日	米ドル	200,000	24,019,117	2.56
EP PetroEcuador via Noble Sovereign Funding I Ltd 7.97925% FRN	2019年9月24日	米ドル	187,158	20,368,654	2.17
Petroamazonas EP 4.625%	2020年11月6日	米ドル	200,000	21,451,456	2.29
				88,284,224	9.42
ジャマイカ					
Digicel Ltd 6%	2021年4月15日	米ドル	700,000	52,054,520	5.55
				52,054,520	5.55
レバノン					
Lebanon Government International Bond 6.375%	2020年3月9日	米ドル	300,000	31,766,827	3.39
				31,766,827	3.39
メキシコ					
BBVA Bancomer SA 6.5%	2021年3月10日	米ドル	180,000	20,517,840	2.19
BBVA Bancomer SA 7.25%	2020年4月22日	米ドル	200,000	22,298,441	2.38
				42,816,281	4.57
カタール					
QNB Finance Ltd 3.26563% FRN	2022年5月2日	米ドル	400,000	43,625,878	4.65
QNB Finance Ltd 3.87175% FRN	2021年5月31日	米ドル	200,000	21,902,393	2.34
				65,528,271	6.99
トルコ					
Turkiye Is Bankasi AS 5.375%	2021年10月6日	米ドル	365,000	38,831,912	4.14
Turkiye Vakiflar Bankasi TAO 5.5%	2021年10月27日	米ドル	400,000	42,312,346	4.51
Turkiye Vakiflar Bankasi TAO 5.625%	2022年5月30日	米ドル	440,000	45,483,166	4.85
Yapi ve Kredi Bankasi AS 5.75%	2022年2月24日	米ドル	200,000	21,278,151	2.27
				147,905,575	15.77
ウクライナ					
Ukraine Government International Bond 7.75%	2021年9月1日	米ドル	100,000	11,359,067	1.21
				11,359,067	1.21

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型 (為替ヘッジなし)

投資銘柄	満期日	通貨	名目元本	時価 日本円	純資産 比率 (%)
債券合計				879,313,103	93.78
公認の証券取引所に上場されている証券合計				879,313,103	93.78
投資合計				879,313,103	93.78

	未実現利益(損失) 日本円	純資産比率 (%)
為替先渡契約未実現利益	5,296,920	0.56
為替先渡契約未実現損失	(716,701)	(0.07)
為替先渡契約純未実現利益	4,580,219	0.49

	時価 日本円	純資産比率 (%)
投資有価証券・為替先渡契約合計	883,893,322	94.27
現金及び現金同等物	42,819,599	4.57
その他資産・負債	10,893,720	1.16
純資産	937,606,641	100.00

信用格付別有価証券分類	時価 日本円
投資適格	65,528,271
投資適格未満	813,784,832
	879,313,103

マネープール・マザーファンド

第10期 (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2009年10月30日)
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率		
6期 (2015年10月13日)	10,051	0.0	96.1	358,819
7期 (2016年10月12日)	10,048	△0.0	96.0	427,847
8期 (2017年10月12日)	10,041	△0.1	95.9	470,433
9期 (2018年10月12日)	10,032	△0.1	16.6	440,044
10期 (2019年10月15日)	10,023	△0.1	96.1	411,156

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

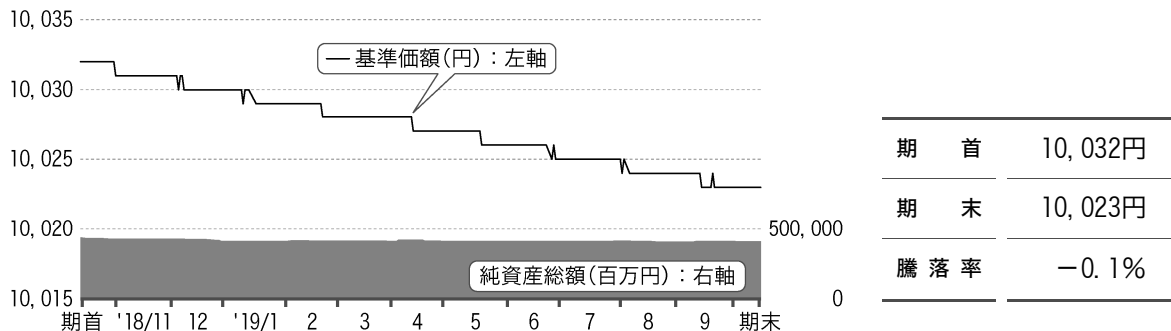
年月日	基準価額		債券組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2018年10月12日	10,032	—	16.6
10月末	10,031	△0.0	15.7
11月末	10,031	△0.0	14.3
12月末	10,030	△0.0	16.6
2019年1月末	10,029	△0.0	16.8
2月末	10,028	△0.0	93.3
3月末	10,028	△0.0	12.7
4月末	10,027	△0.0	95.1
5月末	10,026	△0.1	95.5
6月末	10,025	△0.1	95.5
7月末	10,025	△0.1	95.6
8月末	10,024	△0.1	95.8
9月末	10,023	△0.1	17.5
(期末) 2019年10月15日	10,023	△0.1	96.1

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

基準価額等の推移



▶ 基準価額の変動要因 (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

当期の短期金利は小幅に上昇しました。

物価上昇率の伸びが徐々に鈍化したことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を継続し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。また、日銀が需給動向を勘案しながら短期国債の買入れ額を調整したことから、短期国債利回りはレンジ推移となりましたが、2019年10月以降は年末越えの運用ニーズの高まりから利回りは急低下しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、日銀当座預金付利金利である-0.10%程度を上限に、マイナス圏で推移しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.311%に対し、期末は-0.290%と小幅に上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

2%の物価安定目標が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	3円 (3)	0.029% (0.029)	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	3	0.029	

期中の平均基準価額は10,027円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	51,014,984,937	50,674,560,243
	地方債証券	25,354,280	— (12,846,790)
	特殊債証券	40,746,038	— (70,546,500)
	社債証券 (投資法人債券を含む)	—	— (100,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※社債証券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D
			A			C
公社債	百万円 86,105	百万円 16,315	% 18.9	百万円 —	百万円 —	% —
現先取引(公社債)	50,994,980	1,473,585	2.9	50,674,560	1,473,582	2.9

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2018年10月13日から2019年10月15日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

マネープール・マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2019年10月15日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	340,000,000 (340,000,000)	340,219,598 (340,219,598)	82.7 (82.7)	— (—)	— (—)	— (—)	82.7 (82.7)
地 方 債 証 券	20,422,700 (20,422,700)	20,497,739 (20,497,739)	5.0 (5.0)	— (—)	— (—)	— (—)	5.0 (5.0)
特 殊 債 券 (除く金融債)	34,308,100 (34,308,100)	34,519,040 (34,519,040)	8.4 (8.4)	— (—)	— (—)	— (—)	8.4 (8.4)
合 計	394,730,800 (394,730,800)	395,236,378 (395,236,378)	96.1 (96.1)	— (—)	— (—)	— (—)	96.1 (96.1)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第847回 国庫短期証券※	—	10,700,000	10,700,428	—
	第848回 国庫短期証券	—	10,000,000	10,000,760	2019/11/5
	第850回 国庫短期証券	—	10,000,000	10,000,990	2019/11/11
	第850回 国庫短期証券※	—	50,000,000	50,005,000	—
	第855回 国庫短期証券※	—	60,000,000	60,014,400	—
	第862回 国庫短期証券※	—	19,300,000	19,327,020	—
	第863回 国庫短期証券※	—	180,000,000	180,171,000	—
	小 計	—	340,000,000	340,219,598	—
地 方 債 証 券	第677回 東京都公募公債	1.33	1,859,700	1,864,107	2019/12/20
	第678回 東京都公募公債	1.38	1,770,000	1,774,336	2019/12/20
	第679回 東京都公募公債	1.38	900,000	902,205	2019/12/20
	第681回 東京都公募公債	1.4	1,110,000	1,116,549	2020/3/19
	第682回 東京都公募公債	1.32	300,000	301,674	2020/3/19
	第685回 東京都公募公債	1.13	400,000	403,016	2020/6/19
	第686回 東京都公募公債	1.08	100,000	100,720	2020/6/19
	平成21年度第5回 静岡県公募公債	1.35	197,000	197,019	2019/10/18
	平成21年度第7回 静岡県公募公債	1.54	500,000	500,850	2019/11/25
	平成21年度第10回 静岡県公募公債	1.4	100,000	100,586	2020/3/18
	平成22年度第5回 静岡県公募公債	1.315	100,000	100,901	2020/6/24
	平成27年度第4回 静岡県公募公債(5年)	0.157	200,000	200,192	2020/6/19
	平成21年度第10回 愛知県公募公債(10年)	1.38	300,000	300,168	2019/10/30
	平成21年度第11回 愛知県公募公債(10年)	1.46	404,000	404,682	2019/11/27

マネープール・マザーファンド

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	平成21年度第12回 愛知県公募公債(10年)	1.32	500,000	501,260	2019/12/25
	平成21年度第15回 愛知県公募公債(10年)	1.42	200,000	200,804	2020/1/28
	平成21年度第17回 愛知県公募公債(10年)	1.41	585,000	587,995	2020/2/26
	平成21年度第19回 愛知県公募公債(10年)	1.4	100,000	100,634	2020/3/30
	平成22年度第3回 愛知県公募公債(10年)	1.364	500,000	504,160	2020/5/28
	平成22年度第5回 愛知県公募公債(10年)	1.258	100,000	100,882	2020/6/30
	平成25年度第13回 愛知県公募公債(7年)	0.435	100,000	100,414	2020/10/15
	平成21年度第4回 広島県公募公債	1.53	300,000	300,507	2019/11/25
	平成21年度第5回 広島県公募公債	1.42	100,000	100,398	2020/1/27
	平成22年度第1回 広島県公募公債	1.37	300,000	302,505	2020/5/27
	平成22年度第3回 広島県公募公債	1.08	100,000	101,005	2020/9/24
	平成21年度第7回 埼玉県公募公債	1.53	100,000	100,177	2019/11/27
	平成21年度第8回 埼玉県公募公債	1.3	612,000	613,517	2019/12/25
	平成21年度第9回 埼玉県公募公債	1.42	500,000	502,010	2020/1/28
	平成21年度第10回 埼玉県公募公債	1.44	400,000	402,068	2020/2/25
	平成22年度第1回 埼玉県公募公債	1.45	200,000	201,542	2020/4/28
	平成22年度第2回 埼玉県公募公債	1.37	590,000	594,885	2020/5/26
	平成22年度第3回 埼玉県公募公債	1.31	100,000	100,894	2020/6/24
	平成22年度第6回 埼玉県公募公債	1.08	100,000	101,020	2020/9/29
	平成26年度第1回 奈良県公募公債	0.143	250,000	250,035	2019/11/28
	平成21年度第6回 大阪市公募公債	1.57	195,000	195,339	2019/11/25
	平成21年度第7回 大阪市公募公債	1.47	300,000	301,236	2020/1/27
	平成21年度第9回 大阪市公募公債	1.47	800,000	804,000	2020/2/18
	平成26年度第6回 大阪市公募公債(5年)	0.173	600,000	600,102	2019/11/26
	第1回 名古屋市公募公債(7年)	0.629	200,000	200,834	2020/6/19
	第469回 名古屋市公募公債(10年)	1.34	500,000	501,190	2019/12/20
	第470回 名古屋市公募公債(10年)	1.4	100,000	100,590	2020/3/19
	第471回 名古屋市公募公債(10年)	1.27	200,000	201,706	2020/6/19
	平成21年度第9回 神戸市公募公債	1.551	1,100,000	1,101,892	2019/11/25
	平成22年度第1回 神戸市公募公債	1.445	100,000	100,734	2020/4/20
	平成21年度第7回 横浜市公募公債	1.45	100,000	100,489	2020/2/17
	平成21年度第5回 横浜市公募公債	1.56	100,000	100,147	2019/11/19
	平成22年度第1回 横浜市公募公債	1.36	300,000	302,454	2020/5/25
	第41回 横浜市公募公債(5年)	0.101	1,300,000	1,300,286	2020/1/24
	平成21年度第1回 岡山県公募公債(10年)	1.55	100,000	100,180	2019/11/27
	平成21年度第2回 岡山県公募公債(10年)	1.39	450,000	452,839	2020/3/31
	小 計	-	20,422,700	20,497,739	-
特 殊 債 券 (除く金融債)	第14回 政府保証地方公共団体金融機構債券(6年)	0.199	500,000	500,855	2020/6/18
	第16回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.0	300,000	302,901	2020/9/14
	第8回 政府保証首都高速道路債券	1.3	200,000	200,718	2020/1/20
	第5回 政府保証阪神高速道路債券	1.3	340,000	341,955	2020/3/18
	第1回 政府保証公営企業債券(15年)	1.6	600,000	606,828	2020/6/22
	第11回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.4	380,000	382,800	2020/4/17
	第11回 政府保証地方公共団体金融機構債券(6年)	0.25	100,000	100,006	2019/10/23
	第12回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.3	515,000	519,202	2020/5/22
	第13回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.3	100,000	100,894	2020/6/12
	第14回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.1	400,000	403,492	2020/7/17
	第15回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.0	143,000	144,255	2020/8/14
	第17回 政府保証地方公共団体金融機構債券	0.9	306,000	308,968	2020/10/21

マネープール・マザーファンド

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	第56回 政府保証関西国際空港債券	1.4	410,000	412,168	2020/2/25
	第6回 政府保証日本政策投資銀行社債	1.2	100,000	100,212	2019/12/16
	第7回 政府保証日本政策投資銀行社債	1.4	300,000	301,491	2020/2/17
	第9回 政府保証日本政策投資銀行社債	1.0	349,000	352,374	2020/9/14
	第24回 政府保証日本政策投資銀行社債	0.176	100,000	100,220	2020/9/29
	第91回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	686,000	686,370	2019/10/31
	第93回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.4	1,461,000	1,463,615	2019/11/29
	第95回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	643,000	644,607	2019/12/27
	第98回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	447,000	448,788	2020/1/31
	第100回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.4	201,000	202,087	2020/2/28
	第103回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	650,000	653,757	2020/3/19
	第104回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.4	100,000	100,789	2020/4/30
	第107回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	696,800	702,667	2020/5/29
	第110回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	2,966,300	2,994,806	2020/6/30
	第112回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	3,325,000	3,355,490	2020/7/31
	第115回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	3,121,000	3,149,931	2020/8/31
	第117回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	1,533,000	1,548,544	2020/9/30
	第120回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.9	1,679,000	1,695,689	2020/10/30
	第344回 政府保証道路債券	1.6	1,000,000	1,012,420	2020/7/15
	第7回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.2	1,043,000	1,045,106	2019/12/13
	第8回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.3	3,322,000	3,333,925	2020/1/20
	第9回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.4	550,000	552,673	2020/2/14
	第10回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.3	100,000	100,556	2020/3/13
	第30回 政府保証日本政策金融公庫債券	0.194	3,500,000	3,503,675	2020/3/18
	第33回 政府保証日本政策金融公庫債券	0.15	400,000	400,844	2020/10/27
	第10回 政府保証中部国際空港債券	1.3	340,000	341,927	2020/3/16
	第203回 政府保証預金保険機構債	0.1	1,000,000	1,000,390	2020/1/17
	第5回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.2	401,000	401,036	2019/10/18
	小 計	—	34,308,100	34,519,040	—
	合 計	—	394,730,800	395,236,378	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※末尾に※印のある銘柄は、現先で保有している債券です。

■ 投資信託財産の構成

(2019年10月15日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%
	395,236,378	96.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	15,921,710	3.9
投 資 信 託 財 産 総 額	411,158,088	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

マネープール・マザーファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年10月15日現在)

項目	期末
(A) 資産	411,158,088,470円
コール・ローン等	15,762,448,146
公社債(評価額)	395,236,378,148
未収利息	120,148,978
前払費用	39,113,198
(B) 負債	1,106,748
未払利息	31,956
その他未払費用	1,074,792
(C) 純資産総額(A-B)	411,156,981,722
元本	410,225,615,973
次期繰越損益金	931,365,749
(D) 受益権総口数	410,225,615,973口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,023円

※当期における期首元本額438,641,517,387円、期中追加設定元本額18,948,192,245円、期中一部解約元本額47,364,093,659円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2018年10月13日 至2019年10月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	435,887,653円
受取利息	471,790,808
支払利息	△ 35,903,155
(B) 有価証券売買損益	△ 702,958,917
売買益	252,000
売買損	△ 703,210,917
(C) 信託報酬	△ 120,087,719
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 387,158,983
(E) 前期繰越損益金	1,402,623,318
(F) 追加信託差損益金	51,807,755
(G) 解約差損益金	△ 135,906,341
(H) 計(D+E+F+G)	931,365,749
次期繰越損益金(H)	931,365,749

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ 当期末における、元本の内訳は以下の通りです。

SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルレアル)	144,000,000円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型(為替ヘッジなし)	39,857円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(南アランド)	3,474,833円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型(為替ヘッジあり)	239,199円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(中国元)	12,046,048円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 資産成長型(為替ヘッジなし)	39,857円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(豪ドル)	50,000,000円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 資産成長型(為替ヘッジあり)	229,232円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(円)	11,000,000円	BNPパリバ・グローバル金融機関ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)	1,485,087円
三井住友・公益債券投信(毎月決算型)	8,874,310円	三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド(為替ヘッジあり)	279,064円
グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジ型)	4,305,812円	三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド(為替ヘッジなし)	1,275,775円
グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ノーヘッジ型)	1,026,625円	米国優先リートファンド(為替ヘッジあり)	1,953,537円
北米エネルギーファンド(毎月決算型)	9,964,130円	米国優先リートファンド(為替ヘッジなし)	2,960,215円
北米エネルギーファンド(年2回決算型)	996,413円	三井住友・DCターゲットイヤープランファンド2050	398,229円
三井住友・公益債券投信(資産成長型)	941,890円	SMAM・アセットバランスファンドVA25L3<適格機関投資家限定>	409,960,127,684円
日興グラビティ・ヨーロッパン・ファンド	9,958,176円		

■ お知らせ

<約款変更について>

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2019年4月1日)